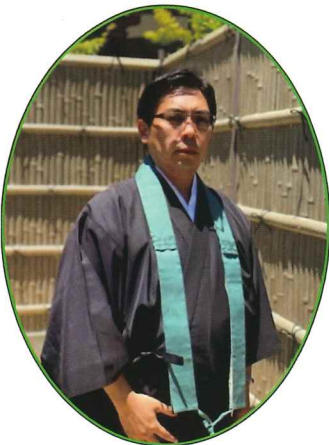


「生死出づべき道」を聞く

円正寺 住職 内本康宏



私は18才の夏にお得度を受けましたが、宗門校以外の大学を卒業後、民間企業に就職したため、宗門内に師・学友がいません。幸いに島上南組には揚風会があり、企業を退職後すぐに入会して以降、先輩住職方に教え導かれたことや、年齢の近い後継住職方から刺激を受けたことは、現在ある私に大きな影響を与えています。

さて、このような私が人前で法話をする

主な機会は、通夜、初七日、年忌における五分ないしは十分間です。

その中から通夜での法話を紹介します。お勤め終了後、冒頭で

ご遺族に向けて哀悼の意を伝えたのち、話し始めます。

「この世に生を受けた以上、いのち終えてゆかなければならないことは諸行無常の道理であります。大切な人とお別れしなければならぬ苦しみを今、受けておられるあなたを、そのまま受けとめ

決して見放さず、必ず救うと誓われた

阿弥陀さまを信じて、迷いのままにこ

れから精一杯生かさせてもらいまし

よう。これが私たちにできるたった

ひとつのことではないでしょうか。

この後、白骨の章を拝読して終える

場合(打ち合わせ段階で、遺族の心情)

に配慮して慰める言葉を端的に

すると判断した場合)もあります。

次のように続けるのが大半です。



合掌

「等しくこの世に生を受けるも、いのちの終え方は様々です。バラ色の人生あ

り、苦勞ばかりの人生あり、長く患って亡くなる人があり、突然亡くなる人があ

り、老いて亡くなる人があり、若くして亡くなる人がおられます。諸行無常とは

このことを言い表しています。『死とはどういうことなのか?』といった課題に、

私は答えを持っていません。自分がそうならないと分らないからです。ただ、

今日ここに私が呼ばれたのは不思議な縁、つまりお念仏のご縁があったからでし

よう。『いのち終えたらどうなるのか?』について、これまで後回しにしていた

ことを、遺族や若い人にきちんと聞かせて欲しいと、故人様から託されたと心得

てお話しします。」

と言って、正信偈の「帰入功德大宝海」から「入生死園示応化」の6句を解説し

ます。そして最後に、故人から遺族へのメッセージとして伝わるよう、こう結び

ます。

「今日聞いたことをよく覚えておいてください。時が経ち、いつの日かふと思

い出したとき、お正信偈に聞かせてもらう生き方をしてください。」

その後、法名の解説などを行い、皆さんと一緒に合掌礼拝をして退出します。

普段このように、通夜のご縁でお勤めをしています。

合掌

島上南組 だより

浄土真宗本願寺派
2022年(令和4年)7月
第16号
編集・発行
高槻市野田正覚寺内
島上南組実践運動委員会

組長ごあいさつ

島上南組組長 本田一成



いよいよ暑さが厳しい季節となりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルスの感染拡大から

自粛していた日常も少しずつ規制が緩

和され、人の動きも活発になりつつあり

ます。それに伴い、寺院活動も徐々に再

開されようとしています。今年度は、島

上南組仏教婦人会により第24回島上南組仏教婦人会物故者追悼法要も

執り行われることとなりました。6月15日には若婦人部研修会も開催され

ました。今後、これまで計画してはやむを得ず中止や延期を繰り返していた

組内の行事・活動が少しずつ再開できればと願っています。皆がお寺に集ま

ることができていることを改めて有り難く思います。

さて、北海道のお寺の坊守さんで鈴木章子さんという方が書かれた詩をご

紹介したいと思います。鈴木さんは約5年間、病と闘い、47歳という若さ

でお念仏の生涯を終えられました。その闘病生活の中で数多くの詩を残され

たのですが、その中の一編に「おやすみなさい」という詩があります。

「お父さんありがとう またあした会えるといいね」と手を振る

テレビを覗いている顔をこちらに向けて

「おかあさん ありがとう またあした会えるといいね」と手を振ってくれる

今日一日の充分が、胸いっぱいにあふれてくる

そして朝は「お父さん、会えてよかったね」「お母さん、会えてよかったね」と

恋人同士のような暮らしをしています

振り返ってみると この四十六年間こんな挨拶を一度だつてしたことがあつたでしょうか

コロナ禍において家で過ごす時間が増え、家族というものを改めて見つめ直し

た方もおられるのではないのでしょうか。一つ屋根の下にしながら「おはよう」の

挨拶も忘れ、家族がいて当たり前に思っていたりします。ただ側にいてくれるこ

とが本当はとても有り難いことなのに、そのことに気づかず毎日が過ぎていきま

す。仕事に追われ、生活に追われ、気づいてはいても感謝の気持ちを伝えられない

まま、いつか、いつかと思っているうちに…後悔しても間に合いません。

みほとけは まなこをどじて みまよべば

さやかにいますわがまえに さやかにいますわがまえに

(仏教讃歌「みほとけは」より)

人生の苦しみ、悲しみがどれほど深くとも、その私の苦悩をいつも抱きとめ、

ともに悲しんでくださる阿弥陀さま、そのお心をいただくことで私たちは安心して

て今を生きることが出来ます。いつ、どこで、何が起きるか分からない人生だから

からこそ、阿弥陀さまに抱かれ、多くの人と支え合いながら生きるご縁、巡り会い

のご縁に「なまあみだぶつ」と申すばかりです。 合掌

人生の苦しみ、悲しみがどれほど深くとも、その私の苦悩をいつも抱きとめ、

ともに悲しんでくださる阿弥陀さま、そのお心をいただくことで私たちは安心して

て今を生きることが出来ます。いつ、どこで、何が起きるか分からない人生だから

からこそ、阿弥陀さまに抱かれ、多くの人と支え合いながら生きるご縁、巡り会い

のご縁に「なまあみだぶつ」と申すばかりです。 合掌



兼好法師と経典(その1)

西應寺 住職 寺本浩伸

日本三大随筆の一つで、日本の代表的な古典文学に鎌倉時代の兼好法師(二二八三〜一三五二)の「徒然草」があります。その「徒然草」の第百五十七段では「経典」について次のように述べています。



「あからさまに聖教の一句を見れば、何となく前後の文も見ゆ。卒爾にして多年の非を改むる事もあり。かりに今、この文をひろげざらましかば、この事を知らんや。これ則ち触るる所の益なり。心更に起らずとも、仏前にありて数珠をとり、経をとらば、怠るうちにも、善行おのづから修せられ、散乱の心ながらも、繩床に座せば、覺えずして禪定成るべし。」

〔現代語訳〕

かりそめにも仏典・経典の一句を見れば、何となく前後の経文も見える。一瞬にして長年の悪いことを改めることもある。かりに今、この経典を広げなかつたら、この事を知るだろうか。これこそが仏典・経典に触れることのおかけである。

仏を求める心はいっこうに起こらなくても、仏前にあつて数珠をとり、経文をとれば、怠けているうちにも、良い行いを自然に行うことになり、乱れた心ながらも、座禅を組む椅子に座れば、自覚のないままに禪定の境地に至る。「人間の気持ちは、物事に触れて起こるものであり、現象とその本体たる真理とは、元来別々のものではないから、心を修めるためには、形式を大事にしなければならぬ。」ということが述べられている部分の一節です。



(一)「聖教」について

兼好法師は浄土真宗の僧侶ではありませんが、「聖教」とはお釈迦様の説かれた教を漢文で表した「経典・仏典」であると考えられます。

お釈迦様の説かれたお聖教は、すべての人々の苦しみをのぞくという、仏さまの精神で一貫して、私どもの心の鏡、日々の行ないの手引です。お聖教にてくる仏さま、菩薩方のご精神や行ないのひとつひとつが、私どもの心の鏡、行ないの手引でないものはありません。また、今の私どもの心のありさまや、行ないの現状を、あるいは理論的に、あるいは暮らした姿で示し、私どものあやまった心がけや行ないが、どんなにか人間を不幸におとし立ていくものであるかを、ことごとまかに指摘されていて、そこに人間の日々の問題に対するおさとしがあります。

人生に対する問題意識をもってお聖教をみると、お聖教の一字一句はすべてみな、私どもの問いに答えている教であることに気付かされます。

(二)浄土真宗における「お聖教」

浄土真宗の「お聖教」は「浄土真宗の教章」で

・ 釈迦如来が説かれた「浄土三部経」

・ 『仏説無量寿経』『仏説観無量寿経』『仏説阿彌陀経』

・ 宗祖 親鸞聖人が著述された主な聖教

『正信念仏偈』(『教行信証』 行巻末の偈文)や『浄土和讃』

『高僧和讃』『正像末和讃』

・ 中興の祖 蓮如上人のお手紙『御文章』と規定されています。

「浄土三部経」をはじめ、七高僧のお聖教、親鸞聖人をはじめ、歴代の方がたのお聖教は、いずれも心の鏡、日々の手引きであり、「浄土三部経」全体や「正信偈」の中には、人間の実態がきわめて理論的に浮きぼりにされています。だから私たちは心の鏡、日々の手引きという角度からもっと大切に聖教に触れていくことが、必要だと思えます。

仏教婦人会より

仏教婦人会副会長 市川節子

コロナ禍で全ての行事の小中止が続いていましたが、最近になり徐々に感染者数が減り、検温、消毒、換気を徹底し、この度6月15日に3年ぶりに若婦人部の研修会を西應寺様の本堂をお借りして、午前・午後の部に分かれ40名の参加者にて開催に至りました。

今回は「ハーブを使ったキッチン壁飾り」を製作しました。事前に役員が試作した時もワイヤーをどんな形にしようかと、どこにハーブやドライフルーツを飾ろうかと考えて、色々個性豊かな作品を作りましたが、当日は本当に役員が驚くぐらい皆様色々なアイデアを出され、とても素晴らしい作品を楽しんで作られていたのが印象的でした。役員一同開催して良かったと思えました。

これからも皆様が参加したいと思える研修会を企画したいと思います。ご協力の程宜しくお願い致します。皆様、ご参加いただきありがとうございます。



新型コロナウイルス感染症流行のため延期しておりました物故者追悼法要を、令和4年9月28日(水)に勤務いたします。感染予防の対策として、ご法中の人数を制限する等、法要を一部変更し勤めさせていただきます。また、先日皆様にご成りいただきました手作り雑巾は744枚集まり、大阪教区へ届けました。皆様の温かいご協力、ありがとうございました。

報恩講日程

日程	曜	寺院名	地区	時程	ご講師
9/17	土	西教寺	春日町	14時	堀川憲慧師
9/18	日	西教寺	春日町	9時半	堀川憲慧師
9/24	土	西教寺	萩之庄	10時,14時	小村賢昭師
10/22	土	円正寺	道鶴町	14時	未定
10/23	日	円正寺	道鶴町	10時,14時	未定
		圓成寺	京口	未定	
		安楽寺	辻子	未定	
11/6	日	西法寺	東天川	10時,14時	未定
11/12	土	一念寺	下田部	10時,14時	鶯地清登師
11/12	土	西法寺	梶原	10時,14時	未定
11/19	土	西応寺	大塚	14時,19時	宮部誓雅師
11/20	日	西応寺	大塚	14時	宮部誓雅師
11/20	日	尊重寺	冠	10時半,14時	未定
11/20	日	久宝寺	大手町	13時	未定
11/26	土	法善寺	西冠	10時,14時	野口宗雄師
11/27	日	普賢寺	須賀町	10時半,14時	藤 正史師
12/3	土	正覚寺	野田	14時,19時	赤井智顕師
12/4	日	正覚寺	野田	10時,14時	赤井智顕師
12/10	土	西證寺	大塚	14時,19時	未定
12/11	日	西證寺	大塚	14時	未定
12/17	土	善立寺	大塚	14時	未定
12/18	日	善立寺	大塚	14時	未定